

子どもたちの「あふれる笑顔 きらめく瞳」をめざして



中学校区一貫教育校園 玉野市立玉小学校 学校だより第55号（令和6年3月22日）

自信をもって堂々と巣立っていきました



3月19日（火）、令和5年度卒業証書授与式を行いました。

卒業証書授与



どの人も、担任先生の呼名に対し、大きな声で返事ができました。また私も壇上でしっかりと目が合い、「おめでとう」の言葉に対し「ありがとうございました」ときちんと返事をしてくれました。とても嬉しかったです。

どの人も緊張しながらも「6年間、しっかりと頑張ってきた」という自信が感じられる表情でした。「6年間、よく頑張りました」という労いと「4月からの中学校生活、そして

その先の生活を自分なりに頑張れ！」というエールを込めて、卒業証書を渡しました。

はなむけの言葉・お祝いの言葉



私からは、卒業生のみなさんが考え、教室に貼ってあった自分たちの「最高学年としての心得13か条」を見事にやり遂げ、下級生のお手本となってくれたことや中学生・その先で大切になる「習慣づくり」について話しました。



今年度は2名の来賓の方々が来られました。（玉野市教育委員会学校教育課 様、玉野市議会議員 様）

来賓の方を代表して、 様よりお祝いの言葉をいただきました。

その中で、「優しさや思いやりの気持ちを大切に、周りの人のことを考える心豊かな人に」「自分の夢や目標をもち、その実現に向けて努

力し続ける人に」「自分自身を、そして命を大切にして、広く社会に貢献できる人に」という【卒業生になって欲しい姿】をはなむけの言葉として、いただきました。

門出の言葉



卒業生が新しいスタートを切るために、小学校6年間の総括やお家の方々、先生たち、在校生に向けての感謝の気持ちを述べてくれました。

小学校6年間の総括では、印象に残ったできごとを1年生から話してくれました。

私が卒業生の人達と過ごしたのは5年生からの2年間です。門出の言葉の中で、5年生での海事研修のことが出てきた時には、「カッターと一緒にこいだなあ。みんなで力を合わせたなあ」や6年生での修学旅行のことが出てくると「最高の思い出、修学旅行」と話してくれました。「コロナ禍で何年も宿泊行事が中止になる中、この関西方面への修学旅行ができて、みんなの最高の思い出になったことが嬉しいなあ」と感じました。

また、お家の方のみならず先生たちにも感謝の気持ちを伝えてくれてありがたかったです。



5年生は前日の会場設営・6年生教室の飾りつけ等、最後まで丁寧に行ってくれました。また当日も態度・姿勢、門出の言葉の呼びかけ等、とても素晴らしかったです。

卒業生のあとを引き継いで、“学校の顔”になるのにふさわしい姿でした。「最上級生

として、4月からのみなさんに大いに期待できる」と思いました。

式には出ないけれど…

4年生…細かなところまでしっかりと掃除をしてくれました。ありがとう。



1～4年生は式の前日に掃除をしたり、卒業生に向けてのお祝いメッセージを掲示したりしました。また卒業生が玉小を巣立っていく道に皆さんが育てた花があり、とても華やかになりました。式に出た5年生はもちろん、式には出なかった1～4年生も含め、在校生全員で卒業生の門出をお祝いできました。みなさんご苦労様でした。

